

錆腐食の進行止まる

設置9年後調査で閉塞率は確実に改善

NMRパイプテクター

設置物件

訪問



ハイツオークラ東灘

赤錆の黒錆化への還元体積収縮着実に

「今後30年以上は保護され配管のメンテナンスは不要に」

給水管更生装置「NMRパイプテクター」(以下パイプテクター)を設置するマンションが全国各地で増えている。近々では大阪市内の24階建てタワーマンションにも導入された。設置したマンションを訪ねるこのシリーズ、今回は兵庫県神戸市の「ハイツオークラ東灘」(築38年、115戸)を訪ね、導入の経緯や評価、そして今後について聞いた。

「ハイツオークラ東灘」に改善し、さびの進行の設置で今後30年以上は「2015年5月が見られない。本来には保護され、配管のメンテナンスは不要とされた」。

「今回の調査結果を聞いて、良かった」と塩山さんは語る。同マンションがパイプテクターを設置するに当たって、塩山さんは「酸化による赤さび」を電子の力で黒さびに還元し、外部腐食がない限り、外部腐食が心配な5年サイクルだと多額な費用が必要で、「更新費用の4分の1以下の調査では47.5%で済んだ。何より工」

「マンションによって改善率が少ない多いはあると思うが、確実に改善し、さびの進行が見られない。本当に設置してよかった」と話す修繕委員長の塩山忠男さん(左)と理事長の大谷恵子さん(右)と

地元ローカルテレビ局の番組が設置のきっかけに

「酸化による赤さび」を電子の力で黒さびに還元し、外部腐食がない限り、外部腐食が心配な5年サイクルだと多額な費用が必要で、「更新費用の4分の1以下の調査では47.5%で済んだ。何より工」

「費用は考えていた。今回の設置9年後の調査では47.5%で済んだ。何より工」

「費用は考えていた。今回の設置9年後の調査では47.5%で済んだ。何より工」

「費用は考えていた。今回の設置9年後の調査では47.5%で済んだ。何より工」



「確実に改善し、さびの進行が見られない。本当に設置してよかった」と話す修繕委員長の塩山忠男さん(左)と理事長の大谷恵子さん(右)と

内視鏡調査写真及び設置前及び設置後閉塞率改善一覧表

内視鏡調査箇所	内視鏡調査写真	閉塞率	内視鏡調査写真	閉塞率
設置前 (H27.04.09)		54.8%		51.9%
設置 10ヶ月後 (H28.04.07)		53.5%		50.3%
設置 34ヶ月後 (H30.04.05)		49.1%		49.9%
設置 71ヶ月後 (R03.04.08)		48.2%		47.4%
設置 9年後 (R06.04.04)		47.5%		43.1%

設置前に比べて13.3%改善

設置前に比べて17.0%改善



パイプテクターを高架水槽2次側配管(左)と揚水ポンプの2次側配管(右)に設置

「設置前の赤さび閉塞率は54.8%(508号室)と早期の対策を必要としていた。パイプテクターにより閉塞率は確実に改善していることがわかった。左上表はパイプテクター設置後の経過年数別閉塞率改善データだ。赤さびの黒さび化への還元体積収縮反応要としていた。パイプテクターを高架水槽の2次側と揚水ポンプの2次側に設置した。番組を見てから約半年後のことだ」